

保育所生活三十年



篠田加津子

保育界に身を投じて廿九年、自然界に雨の日もあり晴れ渡る秋の日さしもある様に私の上にも照る日曇る日ものすごい嵐の日もあつた。

多感な乙女心に生みの親の眞の愛情を受けなかつた私は幼い子たちに自分の命を捧げつくり見度いと考え幸に女高師育科に入学許可された。大正十五年の四月同級生の小関さんと震災でハラック建だつたお茶の水の学び舎に田舎からボツと出の今も思い出すとあの時の自分があわれに感じられる。何故なら

ば二四名中昔の女子師範をえて研究的に入学した方が十名位

外に三十才を越えた方等、私達の様に女学校出たばかりでも

東京の方はなか／＼気がきいていてピアノでもバラ／＼と

バイエル等終つてしまつた人が多い。勉強は大好で負ける事の嫌いな私だったが、其の方達に

呑まれてしまつた様な形で自分自身をどうする事も出来なかつた。小関さんと二人で一室を借りて血みどろの生活をした。でもピアノの練習と筆記のしなをしに時間を費やし映画も一年を

通じ一度位しか見なかつた様に記憶する。

倉橋先生のお講義はかみしめ程に味の出ると申しましよう

か幼児保育者として自信を持つ事が出来た。私の実習室は神原

先生（今は亡きとか）だった。

「貴女は純粹ね」とやさしいまなざしが今も思い出されてならない。それ程私は田舎娘であつたのである。

昭和二年私達二人は佐原幼稚園に赴任した。人生の第一歩を

自身は夜を徹してピアノの練習に遊戯を自分のものにするため自身は笛吹けなど人おどらず。二年三歳経営は困難になり園長の淋しそうなお顔を見るのも悲しかった。昭和五年四月茂原の私立朝日の森幼稚園に赴任した。始めての開園の事とて募集しても園児が少數なので個別訪問をして歩いたが、幼稚園の様な所へ入る様な身分ではないとか、私の家では孤児院に入れなくとも親がついているとか、私はいち／＼幼稚園の必要性を説いて歩いたのですが五〇名足らずの園児でどんなにもがいてもどうにもならない。私共は大きな夢を持ち水曜と土曜は研究日に当つて園児は半日にし平日は午後一時お帰り、幼児画の研究をお母さん方を招集して語り動物園やら玩具屋ごっこ等次々開き自分に気狂いの様に体をきたえた。園に赴任した。人生の第一歩をふみ出した佐原は印象的で忘れられない土地である。あの子もあの子も皆立派になつた事と思う。昭和五年四月茂原の私立朝日の森幼稚園に赴任した。始めての開園の事とて募集しても園児が少數なので個別訪問をして歩いたが、幼稚園の様な所へ入る様な身分ではないとか、私の家では孤児院に入れなくとも親がついているとか、私はいち／＼幼稚園の必要性を説いて歩いたのですが五〇名足らずの園児でどんなにもがいてもどうにもならない。私共は大きな夢を持ち水曜と土曜は研究日に当つて園児は半日にし平日は午後一時お帰り、幼児画の研究をお母さん方を招集して語り動物園やら玩具屋ごっこ等次々開き自分に気狂いの様に体をきたえた。園に赴任した。人生の第一歩をふみ出した佐原は印象的で忘れられない土地である。あの子もあの子も皆立派になつた事と思う。

つた。そして郷に入つては郷に従えと言ふ言葉を思い出した。そして保育園と改名して月謝は当时一円五十銭を一円にした。園児の送り迎えを始め朝早くから夕方迄預る様にした。そうなると田舎向なので園児はだんだん数多くなつて来た。乳児保育も始めた。如何にも茂原の土地にふさわしいものである。さてそうなると園長に保母三名夏季保育の真昼時遊戯室にござを敷く。幼兒を裸にする。乾布座擦をする。着物をぬがせさせ裸体操する。又摩擦する。午睡の後プールの水遊び、プールの水を汲む。重いポンプ今に生れるお腹おかげ辛く苦しい。水にねれたパンツを洗い乾かす。着物をぬがせ着せ汗になつたお布団をほす等目の廻る忙しさ。研究時間はなし夜も十一時十二時居残り。日曜日も休んではいられない明けくればつづいた。睡眠不足過労等で生れ出る子は弱

い。女中まかせの我が子を見ている暇もない。上の二人の子を失つてゐるので後の三人は幾分氣をつけたが三人共に弱い。生れ出る日迄園に傍き氷をお腹にくゝり付けて園に出て飛んだりはねたり。とう／＼胃下垂になり肺炎カタルになつた。お腹を戴いて療養生活に入ったが此の時の回復期間のどかな事は私の一生を通じてなかつた。詩を作り歌をよみそして静かに祈つた。それも束の間十五、六才の女中に二才と四才と六才の子を頼んで出て四ヶ月家に帰つて見れば二才の子は重態直に千葉病院へそうちしてゐる中にありの大東亜戦争になつた。當時園児三〇〇名を抱えてあの空襲。

家にいても園にいても死ぬ時は死ぬのですからと其の頃には保護者から信頼される身となつた。が一人でも殺しては大変だ。医師にも幾度か注意された責任重大丁度其の頃県で小児保健指導員の養成があつた其の席

で県の方が保健婦の養成をし度いとお話をなつたので私は農村向の保母の養成がして見度いと言つた。県ではそれは丁度良いとの事で厚生学園の中に保健婦養成所と保母の養成所とを作り保母の養成を茂原朝日の森保育園に依託され園長が所長になり私が教育主任を命ぜられたのであつた。戦争当時は徵用のがれで応募者もあつたが終戦ともなればたつた五人而も一人は病気四名の生徒で講師の先生にお氣の毒でいたゝまれない悲しい日々を送つた。戦争のつかれか私は又第二の病におそわれた。今度は乾性の腹膜炎である。而し私は此の養成所を何とかして立派なものにしなくてはいけない。これではつぶれてしまふと必死だつた。七度五分の微熱一年半とう／＼傍き乍ら克復した。がれをもつぶれてしまふと片隅に小さな保育所でも作つたの時突如主人が「そんなに茂原とのお別れが辛かつたら茂原の山だけだ。而し茂原の私を信じて下さる方々にお願いしようそ

して再び立ち上るのだ。それから

等のために永久に樂園である様

みしめるよう進むべきである。

付いて大きな悩みをお持ちにな

ら今日満四年を経過した赤い屋
根・白いかべをのぞかせてクリ
ーム色のベンキを塗つて明るい

園舎理想的な設備もして今こそ
自分らしい幼児の樂園を幼児保
育の理想境を保育所の在り方を

あせつてはいけない。常に自
分を正しく神様に恥じない只一

がらの戯れを認め／＼戸倉先
生の様な立派な方を見つけ出し
たのである。尊敬出来る先生方

と夢みつゝ園児がどんど多く
なり園舎を増築し最底基準に合
致さすべく努力している。

丁度此のお正月で五周年を迎
え感無量である。園児は四百五
十名保母は二十名である。私は
今多くの借財のために心が重
い。而し毎日喜々として遊ぶ子
等を見ては胸があつくなり、や
がて此の子等が社会の一員とし
て又リーダーとなて明るい日
本を建設してくれるであろう事
を想えば自分一人がどれ位借金
の苦勞位は何のそのと元氣を出
してはおりますが、眞に苦痛な
ものである。

途の道を世の人々がそんな心に
けられた乳児たちがすく／＼と
伸びている。私の足跡と言つて
もほんとうに永い丈でとりとめ
もなかつた。只私は思う。保育
所が貧困階級の乳幼児を保育
し。親の手助けをしきースワーカー
として家庭の指導に迄當
る。而も根本は乳幼児を預つて
基本教育をしているのである。

幼稚園は上流階級の幼児を預
り教育をする。而も今叫ばれて
いる民主的とは何であるか？
金持の子供、貧乏人の子供そん
な区別をつけて幼児を育てる事
はどうなのか。私は私共がもつ
と／＼声を大にして世の人々に
お若いことよ。幼い子等に魂を
捧げつくすその姿でなくて何で
ある。卅年前とお変わりないお
姿！私は何か神々しい美しさ
を感じる。

暮も押し迫つた頃戸倉先生の
洋行帰りをお待ちして戸倉先生
にリズム遊戯を及川先生に手技
製作を千葉県保育連盟でお願い

明を目指して一步／＼階段をふ
がこれは私の亡き後も茂原の子

の水大学に及川先生がゆるぎな
い大黒柱の様にでんとして居ら
れる。そして菊地先生のおやさ
しいこ／＼たお顔。なつかし
い学び舎を巢立つて卅年になん
なんとするにお二方の先生方の

お若いことよ。幼い子等に魂を
捧げつくすその姿でなくて何で
ある。卅年前とおわりないお
姿！私は何か神々しい美しさ
を感じる。

(千葉県茂原高師保
育園長 同町保育園長)

